

★NATO加盟をめざすブラジル＝米国・ブラジル首脳会談

ブラジルの極右ジャイル・ボルソナロ大統領3月19日、ホワイトハウスでトランプ米大統領と会談した。ボルソナロ就任後の初会談で、トランプ大統領はブラジルを域外のNATOの主要同盟国と認定し、軍事援助の拡大の意向を表明、将来的にNATO加盟国になりえると述べた。両者はベネズエラのマドゥーロ政権排除のための努力を強めることを話し合った。

(会談後の共同記者会見で)

トランプ大統領 昨年の選挙の勝利おめでとう。信じられないほどの快挙、挑戦だった。多くの見解は同じで、両国関係はこれまでなかったほどよい。両国民は団結し、信仰と家族、国家への愛など価値観を共有している。地域が直面する課題で合意している。両国関係をさらに強化する歴史的チャンスをつかえている。

ベネズエラを含む多くの優先事項を話し合った。ブラジルは自由と民主主義を求めるベネズエラ国民を率先して支援してきた。米国と一緒にいち早く、グアイド暫定大統領を承認した。人道援助の努力をおこない、米国がブラジル国境に多大な援助物資の基地にするのを許可してもらったことに感謝したい。腹をすかした何十万人ものベネズエラ人が食べられるようになればうれしい。マドゥーロー一味が退陣すれば、偉大な人道援助が成功するだろう。軍部にマドゥーロ支持をやめるよう呼びかける。彼はキューバの操り人形にすぎない。国民は自由になるだろ。

両国は団結して、苦しんでいるキューバとニカラグアの人民を支持している。西半球では社会主義は黄昏を迎えている。米国では経済はこのうえなくうまくしており、社会主義なんて誰もほしがらない。

私はブラジルを「NATO外の主要同盟国」と呼ぶことにする。あるいは、今後話し合いが必要になるが、NATO同盟国にもなりえる。そうなれば安保協力が大きくすすむだろう。すでにテロや国境を越えた犯罪、麻薬や武器取引の問題で協力している。人身売買も、恐ろしい事態になっている。

経済関係の強化は公正と相互主義の原則に基づく。私が好きな言葉は相互主義だ。貿易障壁を減らし、投資とイノベーションを進めていく。特にエネルギーとインフラ、農業と技術の分野ですすめる。民間部門を広げ経済を開放するというボルソナロ大統領のビジョンは正しいやり方で、米国の大企業は進出の用意

をしている。CEOフォーラムやエネルギー・フォーラムを再活性化したが、ブラジルのOECD加盟希望を歓迎する。米企業がブラジルから宇宙ロケット打ち上げるための技術保障協定が20年かけて最終段階をむかえている。赤道に近いブラジルは宇宙開発で最適な地で費用が削減できる。協力していく。

ボルソナロ大統領 米国とは共通項がたくさんあり、賞賛してきた。この称賛の気持ちはトランプ大統領の就任でますます強くなった。今日の会談は古くからの伝統的な協力関係を回復し、新たな章を開くものだ。古臭い抵抗を克服し、両国の可能性を最大限開拓しよう。今日、ブラジルの大統領は、反米ではないということができる。これはまさにこの2、30年なかったことだ。

現在の改革でブラジルをもっと魅力的な国にする。ビジネス環境をかえていく。ブラジルのOECD加盟を支持してもらうことは相互理解の証だ。民間部門を広げるべきだ。CEOフォーラムやエネルギー・フォーラムを再開する。米国民にはビザを全面免除し、旅行とビジネスを促進する。技術保障協定に調印したのでアルキャンタラ衛星打ち上げ基地が使えることになるろう。

ベネズエラの民主主義回復は両国共通の利益だ。ベネズエラの独裁政権は広い国際連合体である「サンパウロ・フォーラム」の一部だ。かれらは近年、ラテンアメリカ全体を征服しそうになった。しかしブラジルでは民主的な手段でその企てから脱した。ブラジルと米国は並び立って、自由と伝統的な家族観、創造主たる神を敬う努力をしていく。ジェンダー・イデオロギーや政治的公正さ（ポリティカル・コレクトネス）の立場、フェイクニュースに反対していく。

Q マドゥーロの退陣は遠のき、（政権転換の）衝動が失われているが、いつまで言い続けるのか。

トランプ大統領 いつとは言わない。彼らは長い間政権にいる。いつかはかわるだろう。まだ本当に強い制裁はしていない。もっと強い制裁ができる。すべての選択肢がある。必要ならもっと厳しい措置ができる。

Q ブラジルはベネズエラ国境への米軍基地や軍駐留をうけいれるのか。

ボルソナロ大統領 そうだ。われわれはNATO外の同盟国になる可能性を話あった。最近、ロアイマ州の州都ボア・ビスタから食料を送るよう要請した。アメリカの友人を通じて、人道援助がベネズエラにわたるように。現時点ではこれがわれわれの立場だ。ベネズエラの独裁の問題にできる限り協力して対処する

ため、ブラジルは任務を積極的に果たす用意がある。南米でもっとも豊かだった国の人々が飢えて死にかけている。暴力と薬品の不足に苦しんでいる。

Q 米国が実際に軍事介入したらブラジルはどうするのか。

ボルソナロ大統領 戦略上、いかねる問題がいくつかある。論議されたとしても口にしないでおく、公開しない問題だ。米国でも論議があった。ある候補者が他の候補者にイスラム国とたたかうのにどうするかと聞いた。そしたら「それをいったら、やっつけることはできないだろう」と答えた。だから戦略の問題なのだ。話し合いのすべては栄誉あるものだが、特定の情報は、話題にのぼっても残念ながら公には議論されない。

Q 軍事介入の可能性は。

トランプ大統領 前にいったように、すべての選択肢はオープンだ。あらゆる可能性を考えている。いまにわかるだろう。

(以上)